

# 令和8年度 小樽市立西陵中学校 学力向上改善プラン

## 1 生徒の実態

- ①【3学年】全国学力・学習状況調査では、国語で全国との差が0.2p（昨年度比+0.1p）、数学で-0.6p（昨年度比+0.4p）と、全国と比較すると下回っているものの、昨年度との比較ではわずかが改善が見られる。
- ②【2学年】標準学力調査では、国語で全国との差が-7.5p（昨年度比-3.2p）、数学で-6.6p（昨年度比+2.5p）、英語で-11.1p（昨年度比-7p）となった。いずれも全国と比較すると下回っているが、数学において昨年度よりわずかに改善が見られる。
- ③ チャレンジテストでは、国語において各学年とも、全道平均と同様（±0.1p）以内となった。数学では2学年が全道比-0.5pとなっているが、昨年度の結果と比べると+0.7pとなっており、改善がみられる。
- ④【3学年】全国学力・学習状況調査の生徒質問紙調査では、平日に1時間以上勉強する生徒の割合は、全国と比べ3.8p低く、また、30分未満（全くしないを含む）は7.7p高くなっており、家庭学習の定着に課題が見られる。

## 2 学年ごとの定着目標（数値目標）

### <国語科>

学年	定着目標
1年	・チャレンジテスト2学期末問題全道平均以上とする。
2年	・標準学力調査の平均正答率を全国平均以上とする。 ・チャレンジテスト2学期末問題全道平均以上とする。
3年	・全国学力・学習状況調査の平均正答率を全国平均以上とする。 ・チャレンジテスト2学期末問題全道平均以上とする。

### <数学科>

学年	定着目標
1年	・チャレンジテスト2学期末問題全道平均以上とする。
2年	・標準学力調査の平均正答率を全国-2p以内とする。 ・チャレンジテスト2学期末問題全道平均以上とする。
3年	・全国学力・学習状況調査の平均正答率を全国-2p以内とする。 ・チャレンジテスト2学期末問題全道平均以上とする。

### <学習・生活習慣（家庭学習等）>

学年	定着目標
全学年	・「授業のルール」の生徒自己評価で「守っている」を9割以上にする。 ・「早寝、早起き、朝ご飯の生活リズムを整える」の生徒自己評価を7割以上にする。 ・全国学力・学習状況調査で「平日の家庭学習2時間以上」の生徒の割合を全国平均以上にする。 ・スケジュール表を活用し、「平日の家庭学習に1時間以上取り組む」生徒を70%以上とする。

## 3 目標を達成するための具体的な方策

### (1) 基礎学力の確実な定着を図る取組

- ①デジタルドリルの効果的な活用により、基礎学力の確実な定着を図る。
- ②朝読書の時間の効果的に活用により、読解力・表現力の育成を図る。（新聞を読んで200字作文にチャレンジ他）

### (2) 確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

- ①ICTを活用した授業改善に取り組み、理解力の定着を図る。
- ②授業のルール定着に全職員で取り組み、学習規律を徹底する。
- ③研究推進委員会を中心に、授業力の向上を図る（見方・考え方を意識し、生徒が主体的に取り組む授業）。
- ④各教科で単元テストやチャレンジテストを効果的に実施する。

### (3) 家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

- ①デジタルドリルを活用するなどした家庭学習の推進と指導の充実（各学級・各教科）。
- ②放課後補習及び長期休業中補習（樽っ子サポート事業）の実施。
- ③小中一貫の視点から習慣形成に向けて家庭との連携を進める。

## 4 実施計画

年月日	計画内容
R8年4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査過去問題の実施</li> <li>・学力向上検討委員会「確認テスト」下学年の実施</li> <li>・自学自習スケジュール表の取り組み開始</li> <li>・朝読書活動の定着への取組徹底</li> <li>・家庭学習の推進</li> <li>・チャレンジテスト（前年度サポート問題）の実施</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○R8全国学力・学習状況調査の実施</li> <li>○全国学力・学習状況調査 自己採点</li> <li>○標準学力調査実施（第2学年）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究推進委員会・各教科部会による計画検討</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○標準学力調査結果分析</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査問題の復習</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書との連携による「読書ゆうびん」作成</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジテスト（1学期サポート問題）の実施</li> <li>・保護者・生徒アンケートの実施・分析</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休業中補習（樽っ子サポート）の実施</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○R8全国学力・学習状況調査結果分析</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教科での授業交流と検証の取組</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者への調査結果の説明</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学力向上改善プランの評価・改善</li> </ul>
10月	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジテスト（2学期サポート問題）の実施</li> <li>・公開研究会の実施</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者・生徒アンケートの実施・分析</li> </ul>
R9年1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休業中補習（樽っ子サポート）の実施</li> <li>・職員自己評価の実施分析</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上検討委員会「確認テスト」の実施</li> <li>・全国学力・学習状況調査過去問題の実施</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新学力向上改善プランの作成</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者・生徒アンケート分析結果公表（ホームページ等）</li> </ul>

## 5 評価方法

- (1) ①デジタルドリルの実施状況の確認による評価  
②全教科での授業交流や生徒アンケートによる分析  
③国語科及び学校司書と連携した評価
- (2) ①全国的な調査結果の分析及び生徒アンケート結果の分析  
②生徒アンケート「授業のルール」の項目による評価  
③校内研究授業における研究協議の評価  
④チャレンジテストや確認テスト等の分析
- (3) ①学級・教科担任による家庭学習内容等の評価  
②教科担任や学習委員会による活動状況の評価  
③生徒アンケート「早寝、早起き、朝ご飯」の項目による評価